

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)
(生命理工医療科学先端研究特論)(医歯理工学先端研究特論)

記

1. 講師 鶴見大学 名誉教授 福島 俊士 先生
2. 演題 2臼歯連続中間欠損のブリッジによる修復
3. 日時 2021年7月8日(木)17:00~18:00
4. 場所 Zoomによるオンライン講義
受講希望者は7月7日(水)までに、下記フォームより登録してください。
<https://forms.gle/6s22Yrvzro3x7KjH7>
5. 要旨
一般に欠損歯数が多ければ可撤性の義歯、少なければ固定性のブリッジで補綴修復される。その境界はどこにあるのか？ この問いに対して教科書的には、前歯部では4歯連続欠損まで、臼歯部では2歯連続欠損までブリッジが可能とされる。すなわち、前歯部では③21|12③までブリッジが可能で、臼歯部では④56⑦、③45⑥はよいが、③456⑦は不可ということになる。今回は前回の前歯部に続いて臼歯部の2歯連続欠損ブリッジについて検討する。

摂食機能保存学分野

連絡先:野崎 浩佑 k.nozaki.fpro@tmd.ac.jp